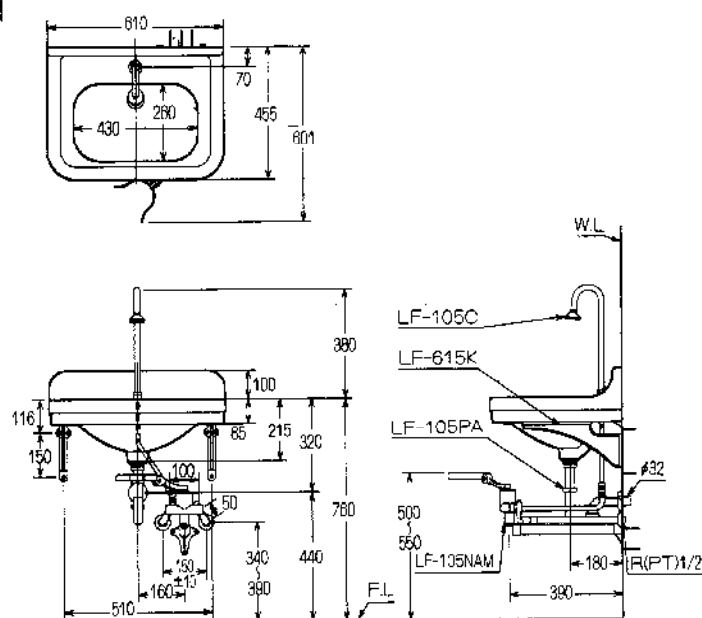
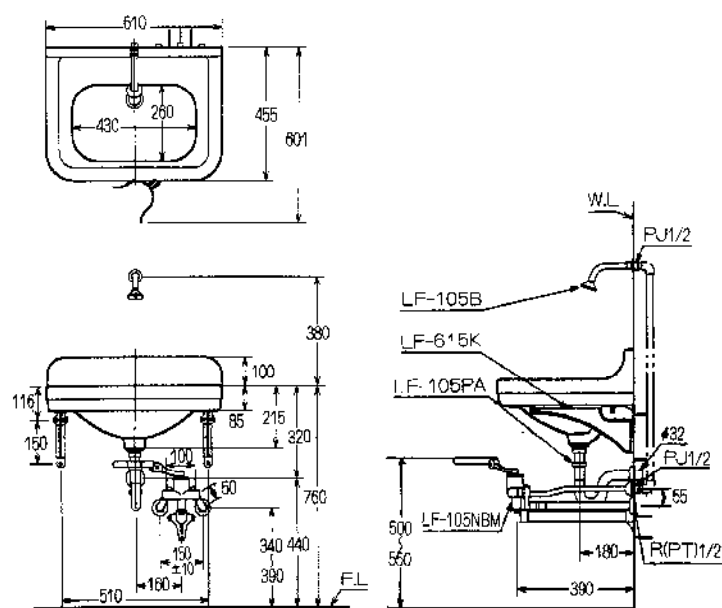
INAX

医科用膝動混合水栓

LF-105NAM
LF-105NBM

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●施工完了図

LF-105NAM

LF-105NBM

●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さままで保管頂くように依頼してください。

⚠ 注 意

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

●使用条件

●給水、給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合〕

給水圧力 ｛最低必要圧力……A＋0.08MPa｛0.8kgf/㎠｝
　　　　　最高圧力…………0.74MPa｛7.5kgf/㎠｝

・測定条件
※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度42℃）によるものです。
※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
※ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。

〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕

給水・給湯圧力 ｛最低必要圧力……0.05MPa｛0.5kgf/㎠｝
　　　　　　　　最高圧力…………0.74MPa｛7.5kgf/㎠｝

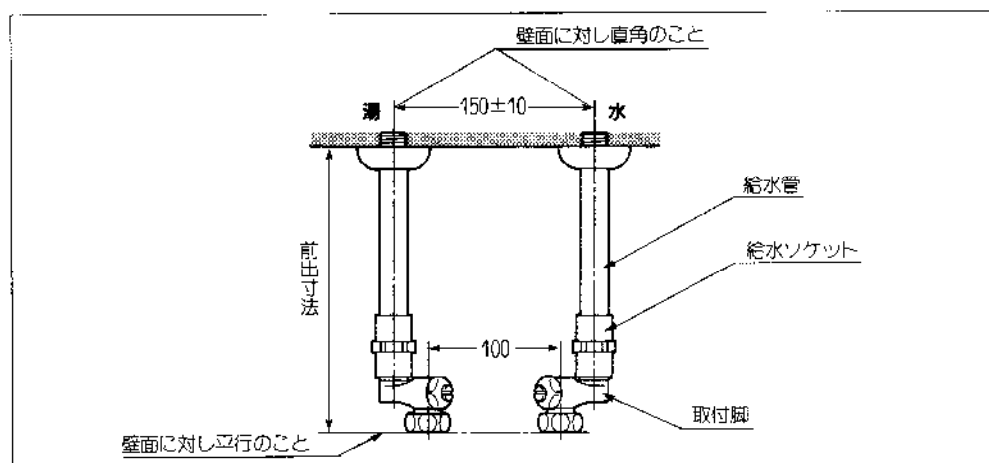
- 温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。

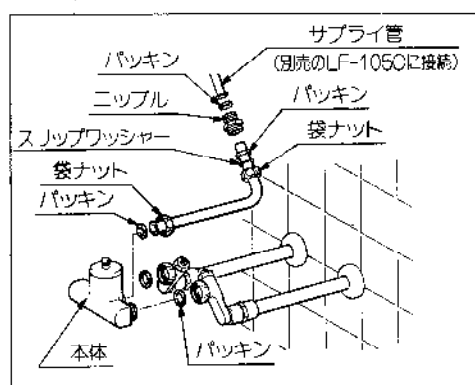
●給水圧力が0.74MPa｛7.5kgf/㎠｝を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力（0.20MPa｛2kgf/㎠｝程度）に減圧してください。
●給湯に蒸気は使用できません。

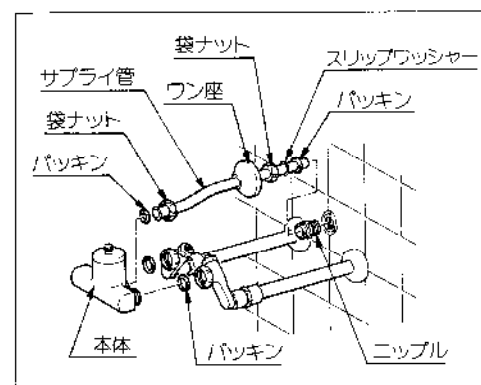
●施工前のご注意

- 給水は上水道に接続してください。
  ※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
  ※逆配管では表示通りに湯が出ません。
- 給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
- 商品の表面には直接工具を掛けないでください。
  ※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
- 開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
- 必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

●施工方法

1．湯側、水側の取付脚は壁からの前出寸法が同一になるように取り付けます。
※給水ソケットの接続にはシールテープを用いてください。

2．本体とサプライ管を取り付けます。

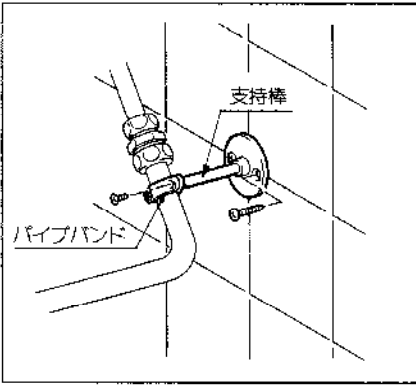
〔LF-105NAMの場合〕

※シャワー（LF-105C）は別途手配してください。

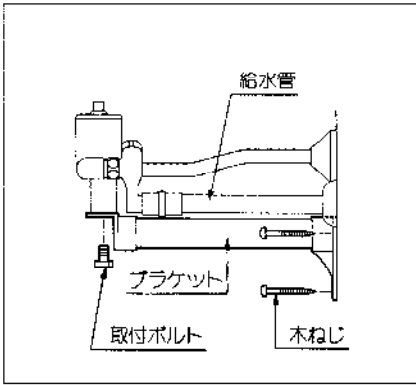
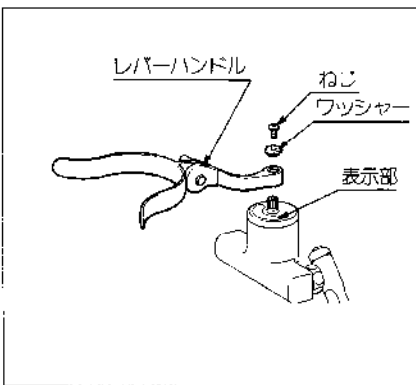
〔LF-105NBMの場合〕

※シャワー（LF-105B）は別途手配してください。

株式会社INAX

本社 ☎0569-35-2700　札幌支社 ☎011-271-1701　東北支社 ☎022-263-1710　東京支社 ☎03-5541-7111　西東京支社 ☎0425-27-3341
横浜支社 ☎045-242-1710　千葉支社 ☎043-227-8171　埼玉支社 ☎048-668-1177　東関東支社 ☎0286-37-3378　関越支社 ☎0273-27-1793
甲信支社 ☎0263-36-2166　名古屋支社 ☎052-201-1717　静岡支社 ☎054-251-1710　北陸支社 ☎0762-64-1710　大阪支社 ☎06-539-3500
京滋支社 ☎075-222-1794　広島支社 ☎082-223-1710　四国支社 ☎0878-21-1701　福岡支社 ☎092-471-1710　南九州支社 ☎096-322-1794

3．パイプバンドを取り付けます。
〔LF-105NAMの場合〕

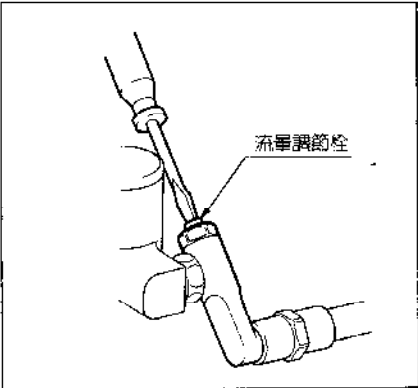
※パイプバンドの支持棒は壁面からの距離に合わせて切ってください。

4．ブラケットを取り付けます。

※給水管が水平になるようにしてください。

5．レバーハンドルを本体に取り付けます。
※表示部の「OFF」と「H」の間でレバーハンドルが動くようにしてください。

●施工後の調節

●漏水確認

各接続部に漏水が無いことを確認してください。

●流量調節

温度調節を容易にするため流量調節栓を次の要領で調節してください。
(1)レバーハンドルを「H」の位置に合わせて吐出し、湯側の流量調節栓で適量に調節します。
(2)「C」の位置に合わせて「H」の吐出量と同じになるように水側の流量調節栓で調節します。

●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

現　象	点検内容	点検箇所	処　置
流量が少ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照
	流量調節栓は十分開いているか？	②(湯側と水側)	流量調節栓を十分開く
	シャワー吐水口のゴミ詰まりは？	別売のシャワー	ゴミ等を水で洗い流す
本体上部より漏水する。	キズ、ゴミかみはないか？	③	ゴミ等は水で洗い流す キズは部品を交換する
	ねじのゆるみはないか？	⑥	ねじを締め付ける
湯水の逆流がある	逆止弁は正常か？ (ゴミ、砂かみは？) (パッキン、シートにキズは？)	①(湯側と水側)	ゴミ等は水で洗い流す キズは部品を交換する
表示通りに温度調節ができない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照
	レバーハンドルの取付位置は正常か？	④	「取付方法」の項参照
	流量調節栓は適正に開いているか？	②(湯側と水側)	「流量調節」の項参照
レバーハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	⑤	ねじをしっかり締める